

5分間研修資料

～ 2・3月 医療的知識・ターミナルケアの知識・精神的ケアの知識 ～

1 介護職と医行為

○ 医行為とは

「医師の医学的判断および技術をもってするのでなければ、人体に危害を及ぼし、又は危害を及ぼすおそれのある行為」で、医師のほか看護師などの資格者が、診療の補助として、医師の指示のもとに行うことができる行為のこと。

○ 介護現場で想定される医行為の例

- ◆たんの吸引 ◆経鼻経管栄養 ◆褥瘡の処置 ◆服薬 ◆浣腸
- ◇胃ろうによる栄養管理 ◇膀胱カテーテルの管理 ◇摘便 ◇酸素療法
- ◇インスリン注射 ◇理学療法・作業療法・言語聴覚療法(医師の指示のもと、各療法士が行う)

○ 介護職が行える医行為

上記のうち、◆の行為は介護職員も条件を満たすことで実施できるものや、内容の一部を実施できるものがある。

たんの吸引 経鼻経管栄養	【介助者の条件】 ①2016年度以降の国家試験に合格した介護福祉士 ②上記以外の介護職員で、一定の研修を受け都道府県知事から認定証の交付を受けたもの
褥瘡の処置	【実施できる内容】 創の周囲の水洗いや汚れたガーゼの交換、モイスキンパッド等衛生材料の交換は可能 ※消毒・軟膏塗布・ハイドロサイド等特定医療材料の交換は不可
服薬	【実施できる内容】 ・皮膚への軟膏の塗布(褥瘡の処置を除く) ・皮膚への湿布の貼付 ・点眼薬の点眼 ・一包化された内用薬の内服(舌下錠の使用も含む) ・肛門からの坐薬挿入又は鼻腔粘膜への薬剤噴霧を介助すること
浣腸	【実施できる内容】 市販薬を用いての浣腸の介助

○ 介護職が限定的に行える医療的なケア

上記の医行為同様、介護職員が限定的に行える医療的なケアとして『爪切り』がある。

【条件】

①爪そのものに異常がなく、爪の周囲の皮膚にも炎症や化膿がないこと

②糖尿病のように専門的な管理の必要がないこと

※上記条件に当てはまる場合は医行為として医師・看護師に処置を依頼する

【爪の切り方】

高齢者の爪は巻き爪になりやすいため、

深爪や爪の角を切り落としてしまう

バイアス切りは×。

白い部分を1～2mm残し、角を切らない

スクエアオフという切り方が○。



2 ターミナルケア

○ ターミナルケア(終末期ケア)とは

「死というものを、“悲しむべきこの世のと別れ”であると同時に“新しい世界への旅立ち”として捉え、近い将来死が訪れる人に対してその人に残されている時間を心身ともにケアし、安らかに安心してあの世に旅立つことができるように援助すること」

○ 死が近づいた時の兆候

死の前 1週間以内	からだが食物をうけつけず、無理に摂取しても吐いてしまうため、脱水状態や腎機能が衰え、尿量が減少。発語が減り、目に力がなくなる。意識障害や傾眠時間が増える。
死の前 48時間以内	<ul style="list-style-type: none">・脈拍が弱く、血圧・体温が低下・チアノーゼ(酸素が欠乏し、唇や皮膚が青紫色になる)・冷や汗が出て顔相が変わる・死前喘鳴(喉の奥でゼロゼロ、ゴロゴロという音を発しながら呼吸する)・チェーン・ストークス呼吸(10～30秒ほど呼吸がとまり、浅い呼吸から深くゆっくりした呼吸へというリズムを繰り返す)・肩呼吸

○ 死期が近い人の水分補給

口から食べられなくなった終末期の人に無理に栄養補給をすると、弱った内臓に負担がかかり顔や手足に浮腫となって表れ苦痛となってしまう。家族や医師、看護師と連携し必要な栄養の程度や補給の方法を検討する。また、口腔内が乾燥した状態では雑菌が繁殖してしまうため、口から水分が摂れない状態であっても水やお茶を染み込ませたスポンジなどで定期的に口唇を湿らせる必要がある。

3 精神的ケア

○ 精神的ケアの対象者

看取り期の人・障害を負った人・認知症の人など、それまでとは違う、避けられない状況に対しショックや不安、苦痛を感じている人。老化による心身の衰え、社会的な役割の喪失などを体験した高齢者も、精神的ケアの対象となる。

○ 精神的ケアを行うには

相手の感じている不安や恐怖、ストレスを軽減するのが精神的ケアである。そのためには、下記の三つの態度を基本とし、相手との信頼関係を築くことが何よりも必要である。

傾聴	忙しそうにバタバタと動き回るのはNG。相手の言葉に耳を傾ける姿勢を見せる。相手のペースに合わせ、急かしたり自分ばかり話したりしないようにする。
共感	「そうですね、わかります」と繰り返すのは同情。「こう思うんですね」「そうなんですね」と相手の立場に立って感情を返す。
受容	不安や恐怖を感じている相手を、その感情ごとありのまま受け入れる。自分の価値観で相手を判断するのではなく、相手を丸ごと受け入れる。